

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		and こころ 大府(児童発達支援)				公表日	2026年3月19日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・共同スペースを活用し、支援を行う空間を活用している ・活動する場所を2つに分ける、利用者状況により3つに分ける等して、活動するスペースを確保している。 ・十分なスペースを確保している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広い物件に移転予定・活動スペースが十分確保されている店舗へ移転する。 	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ボードを活用しながら、利用者の管理に漏れがないよう工夫している。 ・必要人員を配置している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の支援が行えるとより良い。 ・正規職員1名の採用と非正規職員を増やしより良い支援を考えられるような時間を確保していく。 ・送迎、支援が十分行えるよう体制を整える。 	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関にはスロープを設置しバリアフリー化を行っている ・利用者の体形にあったトイレスペースの確保が難しい場合、パーテーションを利用している。 ・部屋数が少ないため、利用者にとってわかりやすく過ごしやすい環境となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広い、かつ利用者の体形に合ったトイレスペースが確保されている店舗へ移転する。 ・利用希望の要望はいただいているが、平米の関係で定員を増員することが行えないため、移転を検討している。 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の清掃、こまめな換気、空気清浄機を設置し清潔を心掛けている。 ・利用者の状態に合わせて対応することが行える。 		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個別のスペースを確保している。 ・過ごしたい部屋の方へ自由に行き来することが行える。 		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画を計画遂行し、半年に一回、報告および振り返りを行っている ・事業所計画で1年の目標設定と振り返りを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種ミーティングを開催する。 ・半年に一度の面談後に情報を職員に共有するようにする。 ・非常勤職員に対しては定期的なPDCAサイクルを活用することが行えていないため、実施していきたい。 	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・半年に1回の面談で、意向等を把握し問題がある場合は事業部責任者へ報告を行っている。 ・事業所評価を実施し、事業所ごとに保護者の意向を把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善が行える体制を整える。 	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議および管理者会議等で提案し、改善につなげている ・普段から、利用者の状況について共有をし、改善すべき点があれば検討をしている。 ・業務の改善点がある場合は月1回正規職員が参集する職員会議で議題としてあげることとなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種ミーティングを定期的で開催する。 ・同じ職員から議題が出ることが多いため、更に議題が増えていくよう検討していきたい。 	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人で第三者評価を行っている。 		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回研修を行っている。また、年に1回全職員に1日研修を行っている。 ・年に一度、パート職員、アルバイト職員を含めた職員研修を行っている。 ・研修に対して法人より補助が出る。 ・月に一回の職員研修、年に一回全職員を対象とした社内研修を行っている毎月、職員会議および勉強会で職員の資質の向上を図るため研修が行われている。 	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページに公表されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年に1度は更新していきたい。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・他職種でアセスメントを行い、個別支援計画書の検討会議も児童発達管理責任者および他職種で検討している。 ・保護者および本人との個別面談を実施し、ニーズおよび課題を確認し、計画書へ反映をしている。 	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種で検討会議を行っている。 ・検討会は児発管および多職種で行うようにし、様々な方向から意見を出し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広く職員同士で意見を検討する機会を作る。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・紙面で計画書が見れるように整備を行っている ・活動室に計画書のファイルがあり、いつでも閲覧できるようにしている。 ・計画書でのポイントは職員同士で共有をしている。 ・適切に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・顔を合わせた多職種ミーティング等を週1回開催し、現在の状況を共有していきたい。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・遠城寺発達検査およびDAMを使用し、個々に合った発達検査を行っている ・「遠城寺式乳幼児分析的発達支援検査」を使用している。また、モニタリングを作成する際は、他の職員に意見を聞き検討をしている。 	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画書に記載されている ・適切に作成している。 	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画研修で、活動の内容等を正規職員で検討している ・児童発達支援管理責任者を軸にチームで行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容の検討を職種問わず案を出し合っていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・アート事業部とも連携し、地域を巻き込んだアート活動および戸外活動も取り組んでいる。 ・常勤職員だけでなく、非常勤職員からも意見を徴収している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな活動を取り入れつつ、好きな活動を生かした工夫をしていく。 ・幅広く職員に意見を聞き取り入れていく。
19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援の多い利用者でも調理実習等、集団で行う活動は、集団で行うように工夫している。 ・適切に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢に合った玩具および余暇用具を整えていきたい ・年齢に応じた活動を増やしていく。 ・医療的ケアが多い利用者の活動が固定化しないよう工夫していく。 	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせは毎日ではできていないが、送迎前の声掛けおよびホワイトボードで緊急な変更等は周知している。 ・ホワイトボードに1日の送迎ならびに支援のポイントを落とし込み、支援内容の共有をする。 ・午前のミーティングを行っている。 	・週1回は職員でミーティングを行い、支援の内容および役割分担について共有していきたい。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・支援終了後の打ち合わせはできていないが緊急時等は、LINEを活用し、情報共有に努めている。 ・支援終了後に必ず全員で打ち合わせをすることは行っていないが、その日の疑問点はその日の内に解消するよう努めている。 	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・適切に行っている。 	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種ミーティング等で行っている ・半年に一度、モニタリングを実施し計画書の見直しを実施している。 ・3ヶ月～6ヶ月に1度モニタリングを行い、計画書見直しを実施している。 	
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・通所支援事業部の責任者と利用者の支援に入る職員で参画している。 ・児童発達支援管理責任者および常勤職員が参加している。 	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の保育園および大学生とアート交流および運動会に参加させてもらい交流を行っている。 ・月に一回嘱託医の訪問診療を行い連携を行っている。 	
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンス等で密に情報共有を行っている。 ・近隣の保育園と交流を行っている。 ・就学時には、移行予定の学校の先生に、普段の事業所での生活の様子を見学してもらい、注意事項など情報交換を行っている。 	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンス等で情報共有を行っている。 ・必要に応じて行っている。 	
	28 (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	0	0		
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	0	0		
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	0		
	31 (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて行っている。 	・今後、検討していきたい。
32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の保育園と毎年交流を行っている(例：一緒にアート活動を行う、運動会に参加する、夏祭りに招待してもらう等)。 	・保育園の先生方と意見を出し合い、毎年有意義な交流会に今後もしていきたい。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0	・送迎時に日頃の様子を詳しくお伝えしている。 ・連絡帳および送迎時にその日の出来事を伝え、成長を共有している。 ・適切に行っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1	・今後、家族が寄り会える場所、イベントを考えていきたい。 ・年に一度法人で講演会を行っている。 ・適宜情報提供を行っている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	・契約時、保護者会等で説明を行っている。 ・適切に行っている。契約の際に説明しており、また随時の質問も受け付けている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0	・面談時に聞き取りを行っている。 ・半年に一度個別面談を実施し、家族および本人の意向を踏まえて計画書を作成している。 ・適切に行っている。6ヶ月に1度個別面談を設定しており、家族と本人の意向を踏まえて計画書を作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3	0	・半年に1回の面談で得ている。 ・適切に行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0	・相談および対応を適切に行っている。担当で解決できない場合は、事業部責任者に相談を行っている。 ・家族から相談があれば、個別懇談会を実施している。 ・必要に応じて行っている。	
保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	0	・年に1回保護者会を行っている。また、ママ会およびパパ会を年に数回行い交流を図っている。 ・保護者同士で交流する機会を設けている。 ・保護者会、講演会、各種イベントを企画している。	・保護者の方が集まりやすかったり、意見の交換をしやすいイベントを今後も開催していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	0	・担当でわからないことは、事業部責任者に相談し臨機応変に対応している。 ・迅速に対応している。	・体制面等、すぐには改善が難しいことでも十分検討した上で、返答をするよう心がける。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	0	・こころだよりやInstagram等で日々の活動を発信している。 ・毎月のおたより、また公式LINEを活用してお伝えしている。 ・適切に行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	・個々のファイルを作成し、厳重に取り扱っている。 ・適切に行っている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0	・保護者の話を熱心に聞いている。 ・適切に行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	1	・法人主催の講演会イベントで交流を図っている。 ・「愛三文化会館」にて毎年利用者の方のアート作品の展示を行っている。地域の方に事業所を知ってもらい機会となっている。	・積極的に地域に出かけていき、認知度を図っていきたい。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0	・各種法令に基づき、適切に作成している。	・マニュアルについて、職員には周知しているが、保護者には説明が不十分なマニュアルがある。面談時等に周知していきたい。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0	・月に2回防災訓練を行っている。 ・各種法令に基づき、適切に作成している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	0	・面談時に確認している。 ・主治医と連携をとっている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0	・医師の指示書を元に支援を行っている。 ・適切に対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0	・安全計画を策定し、社内研修会等で周知している。 ・各種法令に基づき、適切に作成している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	1	・安全計画は、策定しているが、家族等へ周知がされていない。 ・HPにて周知している。	・更新した際に、保護者の方にも分かるよう周知をしていきたい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0	・会議等で周知している。 ・検討している。	・事例検討会の実施を検討していきたい。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	・職員会議および社内研修会等で、全職員に周知している。 ・年に1度パートアルバイトを含む職員全体を参集し、研修を行っている。その中の項目として虐待防止のための研修を毎年必ず行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	0	・半年に1回身体拘束の会議を行っており、面談時に保護者さんへ周知している。 ・児童発達支援計画書に記載し保護者に承知頂いている。		